


<p>ナイジェリア連邦共和国</p>  <p>緑は国の主要産業である農業を、白は平和を表している。緑・白・緑の3つの帯は、主要な3地域とそれぞれに住む部族を表している。</p> <p>独立：1960/10/1 英国より 国連加盟：1960/10/7 政体：連邦共和制</p>		<p>国の概要</p>	<p>首都 アブジャ</p>
<p>国土 面積 92万4,000 km² (日本の約25倍) ギニア湾の最奥地に位置する。中央のジョス高原と東部国境のアダマワ高原を除けば、海拔500mを越えない平坦地で、中央部を大河ニジェール川が南北に貫流し、河口に巨大なデルタを形成している。</p>			
<p>人口 1億3,150万人</p>			
<p>言語 英語(公用語)、ハウサ語、ヨルバ語、イボ語</p>			
<p>通貨 ナイラ</p>			
<p>気候 南部は高温多湿の熱帯雨林気候で5~10月の雨季には特に雨量が多く、マングローブが生い茂り熱帯風土病も多い。北上するにつれて乾燥し雨季が短くなる。北部はサバナ気候で、国境付近では乾燥気候となる。</p>			
<p>民族 スーダン系諸族(ハウサ族21%、ヨルバ族21%、イボ族18%、フラニ族11%)</p>			
<p>宗教 イスラム教50%、キリスト教40%、原始宗教10%</p>			
<p>教育制度の概要</p>	<p>学校体系</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年・中学校3年・高校3年・大学4年である。 	
	<p>義務教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校9年間が義務教育である。 ・その年の9月1日までに満6歳になる者は、その年の9月に小学校第1学年に入学する。 ・小学校は義務教育で、授業料は無料であるにもかかわらず、就学率は約60~70%と非常に低い。中学校は義務教育ではないこともあり、就学率はさらに低くなっている。 	
	<p>日本と比較した教育課程上の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にはどこの学校でも英語による授業を行っているが、ヨルバ地区ではヨルバ語、ハウサ地区ではハウサ語、イボ地区ではイボ語と、現地民族語も使用されている。 ・学校年度は9月~翌年の6月ないし7月である。 ・3学期制をとっており、1学期は9月~12月、2学期は1月~3月、3学期は4月~6月ないし7月である。 ・民族の統一を促す教育が重視されている。 ・ラゴスの中高一貫教育をしている女子校では、授業は月曜日から金曜日まで行われ、高校に進学すると理科系か文化系のコースを選択することになっている。科目数は30ある。 	

	義務教育後の教育	・高校レベルからは实际的・専門的教育に重点を置いている。 ・連邦大学は平成 19 年 3 月現在 31 校ある。
	就学前教育	・就学前教育は義務ではない。対象は 2~6 歳で、私立の方が多く、信頼性も高い。費用は施設によって異なる。
	その他	・政府の教育振興策にもかかわらず、貧困層は子どもを学校に行かせず、小さいときから労働力として使う傾向があり、特に小さいときから学校に行かず農作業の手伝い等を行っている者が多い。 ・北部の地域では、女子が教育を受ける機会が限定されているので、女子だけのクラスや女子教員、女子への奨学金の提供によって女子の教育を促したり、早婚や妊娠による退学を防いだりという努力が続けられている。
学 校 生 活	給食	・私立の寄宿制の学校では給食制度のあるところがあるが、公立校では給食の制度はない。子どもたちは弁当（サンドイッチ）を持ってきている。
	子どもの一日	・自宅通学と学校の寮に寄宿している生徒がいる。 ・放課後はハンドボールやバレーボール、卓球などのスポーツをしたり、家や寮で宿題や読書をして過ごしている。
生 活 習 慣 等	言葉の指導面の留意事項	・日本語の学習では、「ウ」の発音が、巻き舌になってしまうことがある。
	食生活	・オクラはアフリカ原産で、シチューなどにして食べられている。
	その他	・日本については、技術が大変発展している国という印象を持っている。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・世界 HOT アングル・・・・・・・・・・・・・・・・JICA
- ・ナイジェリアの教育と教科書・・・・・・・・文教大学教育研究所
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・井上恵子